

---

割当方式検討タスクフォース(第1回)  
事業者ヒアリング ご説明資料

---

株式会社NTTドコモ  
2023年2月28日

1

高い周波数帯における条件付きオークションの適用について

2

条件付オークションにおいて懸念されている事項への対応について

3

条件付オークションの制度設計において留意すべき事項

4

高い周波数帯の利用状況のフォローアップについて

5

オークション収入の使途、免許制度等について

# 1. 高い周波数帯における条件付きオークションの適用について

- ミリ波帯のような高い周波数帯の電波は、広帯域が確保できる、伝搬損失が大きいといった周波数特性を有します。
- このため、高い周波数帯の電波は、広範なカバーエリア形成には適さない一方で、双方向の高速大容量通信等のニーズが期待されるような特定のエリアにおいて、「必要な場所に、必要な時に」、ソリューションと一体となったエリアを展開することに適していると考えます。
- そのようなニーズに即したエリア展開による、産業貢献や社会課題解決等につながるよう、事業者の創意工夫によるイノベーションの促進に資する条件付きオークションによる割当てが、高い周波数帯の電波においては適していると考えます。
- 条件付きオークションの実施にあたっては、事業計画との連動含めて、事業者として健全に対応いたします。

### 【周波数キャップ】

- 特定事業者への周波数の集中を防止するため、諸外国の事例も参考にしながら、適切な周波数キャップの設定が必要と考えます。
- 周波数キャップの設定にあたっては、各周波数帯域に設定される割当帯域幅や周波数特性等を踏まえ、周波数帯域ごとに適切に上限を設定することが望ましいと考えます。

### 【ラウンド数制限】

- 落札額の過度な高騰を避けるため、競り上げのラウンド制限は必要と考えます。具体的な回数については、全体の制度設計等の要件と合わせ、諸外国の事例も参考にしながら適切に設定することが望ましいと考えます。

### 【帯域幅・ブロック数】

- 都度の周波数割当てにおいて、十分な周波数幅・ブロック数を確保することで、特定の帯域への入札集中による過度な高騰が起こらないようにすることが望ましいと考えます。
- 一方で、割当帯域が過度に細分化されてしまうと、システム性能を十分に活かせなくなる懸念があるため、諸外国の例や今後の標準化の動きを参考に、帯域幅とブロック数のバランスを考慮した検討を、都度行うことが望ましいと考えます。

#### 【割当単位について】

- 高い周波数帯は、ニーズと一体となった「必要な場所に、必要な時に」展開するエリア等、これまでとは異なる活用方法が適しています。一方で、当該ニーズの発生地域は未知であり、且つあらゆる地域への柔軟な水平展開が産業貢献や社会課題解決に資すると考えられるので、周波数割当ての対象地域は特定の地域に限定せずに全国とすることが望ましいと考えます。

#### 【条件付きオークションにおける条件、排他的申請権の期間について】

- 事業者の創意工夫によるイノベーションを促し、産業貢献や社会課題解決をより強く推進するためには、エリア展開時の柔軟性が最大限発揮されることが重要であり、この観点からエリアカバレッジ等の条件を課すことは望ましくないと考えます。
- イノベーションの実現においては、企画からローンチ、そして産業社会の発展に寄与していく営みの考慮が必要と考えます。よって、当該営みの安定性を確保する観点から、合理的な排他的申請期間が必要と考えます。
- 一方、チャレンジングな取り組みを後押しするという観点での、事業者の活性化も重要と考えられ、安定性確保と活性化のバランスをとった排他的申請期間の検討が必要と考えます。

## 4. 高い周波数帯の利用状況のフォローアップについて

- 周波数の有効利用は、客観的データ等実績により評価することが妥当であると考えております。
- 具体的には、より多くのトラフィックをより多くの基地局で提供している状況を反映したトラフィックデータと基地局の設置密度等を重ね合わせた指標や、第三者によるエリア実測結果の評価等が考えられます。
- 加えて、高い周波数帯における評価は、周波数特性を活かした新たな利用形態等も考慮し、新しい観点での評価項目を検討することを希望します。
  - ✓ ニーズに応じたテンポラリーなエリア展開等、これまでとは違った基地局の設置形態による、新しいエリア展開に準じた利用状況
  - ✓ 超逼迫したピンポイントのエリア(ラッシュ時のホーム、スタジアム内、繁華街のスポット等)における局所トラフィック容量対策等に対する利用状況

## 5. オークション収入の使途、免許制度等について

### 【オークション収入の使途について】

- オークション収入の使途については、5G地方展開の促進支援、不感地エリア対策補助、災害対策・復旧費用への補填など、携帯電話ネットワークの社会インフラとしての機能の一層の強化に現行の電波利用料とともに活用を検討して頂き、事業者における負担軽減の側面についても考慮頂くことを希望します。

### 【免許制度について】

- 様々な試行錯誤が伴うイノベーションが促進されるように、新たな周波数割当てと併せて、より柔軟且つ迅速に基地局設置が進むような、新たな免許制度の検討を希望します。
- 具体的には、DX等による手続きの簡略化、設計自由度(電波発射の期間、場所、指向等)を持った無線局開設の許可、高周波帯への包括免許制度の拡大等について検討を希望します。

あなたと世界を変えていく。

<sup>NTT</sup>  
**docomo**